

『海底の掃除機』で漁港・漁場の再生、浄化を

～漁場の再生、養殖場の底質改善をお考えの皆様へ～

弊研究会は、九州大学、長崎大学、愛媛大学並びに（財）長崎県産業振興財団、NPOふるさとの海を守る会、全日本漁港建設協会長崎県支部会員等で組織する産官学研究開発グループです。弊研究会では、平成15年から実証実験を重ね「サブマリンクリーナー」並びに「海底有害物処理工法」を開発しました。

この工法のうち、濁りを拡散させず底質土を除去する「サブマリンクリーナー（剥層密閉吸引式底質除去装置）」は、平成21年度に実施された、（財）漁港漁場漁村技術研究所・（社）水産土木建設技術センター主催、水産庁後援（（社）全国漁港漁場協会、全日本漁港建設協会協賛）の「第1回水産基盤技術開発賞」の「優秀賞」を受賞しました。

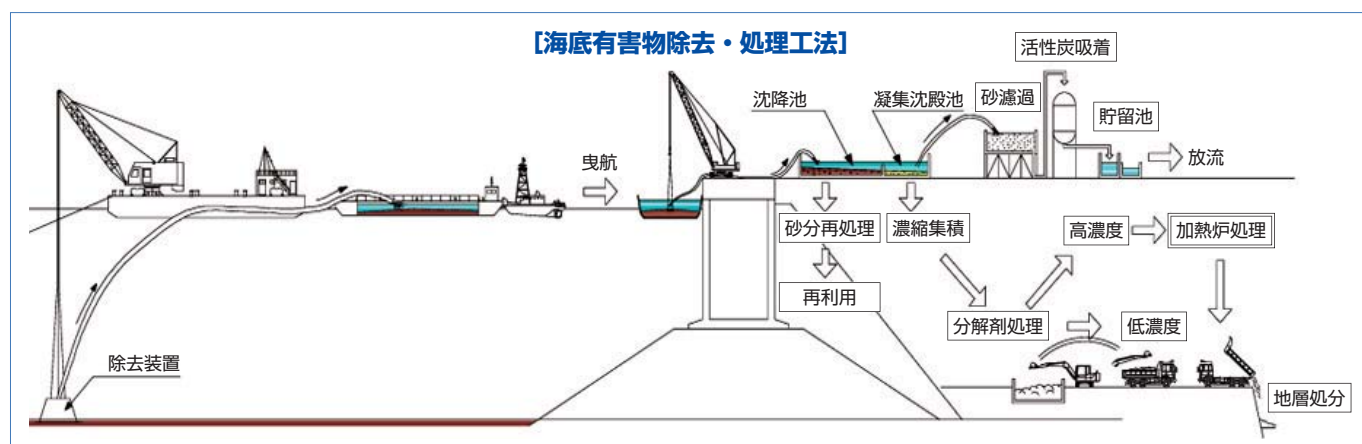
我が国の漁獲量は、減少の一途を辿り往時の半以下という状況にあります。

このような状況を鑑み水産庁では水産資源の回復と漁場生産力の再生、向上を図るため、水産環境整備の推進を図っています。具体的には、水産生物の生活史に対応した広域的な「水産環境整備」と共に、環境・生態系保全活動として、漁港内、また、漁場（養殖場含む）の効用回復のための堆積物除去、底質改善等の事業を推進するとしています。これらの有機堆積物は「赤潮発生源」となる可能性があります。

漁業並びに漁場環境整備、水産資源増養殖関係者の皆様、是非とも、この工法（愛称：海底の掃除機）を活用し、きれいな海、豊かな海を取り戻そうではありませんか。ご連絡いただければ工法の説明にお伺いいたします。

第1回 水産基盤技術開発賞受賞

- 主催：（財）漁港漁場漁村技術研究所・（社）水産土木建設技術センター
- 後援：水産庁
- 協賛：（社）全国漁港漁場協会、全日本漁港建設協会



《主な工法の特長》

- 10cmの薄層浚渫
- 2次拡散を防ぐ：濁らない
- スピード施工、コストダウン：施工速度が速く、コストダウン
- 環境にやさしい工法：海底にくぼみを造らない

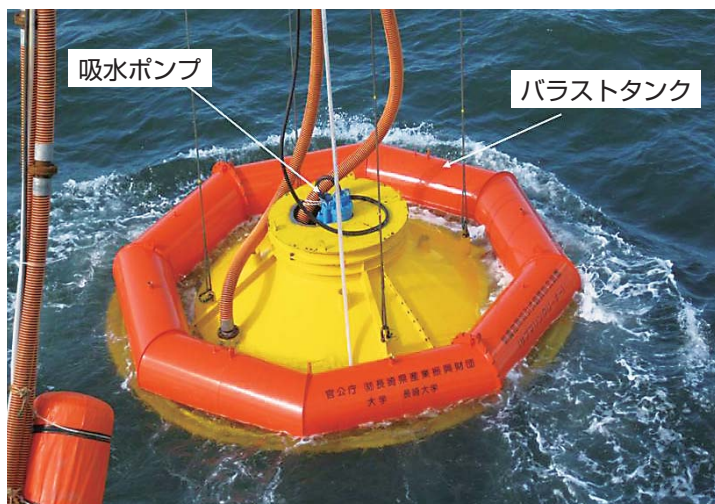
第1回水産基盤技術開発賞を受賞した 本工法を**推薦**します

■(社)全国漁港漁場協会会長 田中 潤児
■全日本漁港建設協会会長 大島 登

今般、長年の実証実験を経て、きれいな海、豊かな海を取り戻す画期的な工法が開発されました。漁業者の皆さんが手塩にかけ育て育てている魚介類や海藻がきれいな海、きれいな漁場で生産されるよう、第1回水産基盤技術開発賞を受賞した本工法活用による、汚れた海底土砂の除去をお勧めします。

海底の
掃除機

密閉吸引式底質除去装置 サブマリンクリーナー



水上噴射確認



揚泥



含泥率(約60%)

施工実績

- 平成15年度～平成20年度：長崎県橘湾・大村湾・博多湾で実証実験
- 平成21年度：伊万里湾及び周辺海域漁場回復事業（建設業と地域の元気回復助成事業）
博多港浮泥除去工事（国土交通省九州整備局博多港湾・空港整備事務所）

【お問い合わせ】

海域環境改善技術開発研究会

〒852-8003 長崎県長崎市旭町6-1 タワーシティ長崎4階

TEL 095-834-1200 FAX 095-834-1201

E-mail konkame@mx2.tiki.ne.jp 担当 末永

<http://www6.ocn.ne.jp/~umikan/index.html>